

地域と農業を結ぶ、ふれあいと絆の発信源

Agresh

2016. VOLUME.81

12

あぐれっしゅ

腕じまん

地域じまんのモノ語り

ゴボウスイーツに
挑戦してみよう!

今が旬のゴボウ。本県のゴボウ生産量は日本一で、アクが少なく、軟らかい、風味が高いなど、品質の良さも群を抜いています。これからの寒い季節、鍋に加えるのが一般的なゴボウをスイーツに使用したレシピを紹介します。



TOM-VEGEゴボウで楽しくクッキング

ゴボウ入りショコラケーキ Merry Christmas

あおもり野菜ソムリエの会 中村 陵子さん(十和田市)提供レシピ

材料(マフィン型6個分)

板チョコ……………	100g	砂糖……………	40g
無塩バター…………	60g	薄力粉……………	60g
ゴボウ……………	60g	ベーキングパウダー…	小さじ1
卵……………	2個		

作り方

- ①板チョコは小さく割り、60度の湯煎で溶かす。
溶かしたチョコにバターを入れ溶かす。
- ②ボウルに卵と砂糖を入れ、混ぜる。泡立ると、焼いた後しぼんでしまう原因になるので注意。
- ③②に①とすりおろしたゴボウを加え、泡立て器で混ぜる。
- ④小麦粉とベーキングパウダーを振るいにかけてながら加え、ゴムベラで底からすくうように混ぜる。
- ⑤マフィン型に6分目まで入れて、170度のオーブンで20分ほど焼いて出来上がり。
- ⑥ようじをさして何もついてこなければ焼き上がり。
※ブルーベリージャムやカシスジャムをケーキの中に入れてもOK

栄養成分

ポリフェノール、イヌリン、セルロース、リグニン、カリウム、マグネシウム、亜鉛、銅、食物繊維

おもな効用

がん予防、便秘改善、整腸作用、動脈硬化予防、老化予防、風邪予防、貧血予防、糖尿病予防の効果があるといわれています。

おいしい食べ方

煮物、さんぴらごぼうなどの炒め物、揚げ物、たたきごぼう(酢の物)、サラダ、スイーツ、ゴボウ茶など。

ゴボウ調理のコツ

ゴボウの風味やうまみは皮の部分に多く含まれています。皮はむくのではなく、タワシや包丁の背で軽くこそぐ程度にします。ゴボウを水にさらさず、そのまま調理したほうが栄養分をしっかりと摂れます。ただし白く仕上げたい場合は、変色を防ぐために酢水にさらしてください。



特集

2016年を振り返る

「JA十和田おいらせの主な出来事
& 農業・農政重大ニュース」

土づくりが
肝心です!!

「みんなのよい食プロジェクト」とは、これからの日本人にとって「よい食」とは何かを、日本の農業とJAグループ消費者のみならず、一緒に考えて、実行していく運動です。



けいしょうびと

継承 × 人

まつばやし まつばやし あきひこ
下田支店管内 松林 彰彦さん(34)
りえ
理絵さん(32)



土づくりが肝心!

11月17日撮影

ナガイモの秋掘り作業に精を出すお二人。11月中旬から作業を始め、両親らと約1週間かけ作付面積1.2畝分を収穫した。今回の長雨、台風の影響は大きく「品質はまずまずだが、太さは平年より細めで減収は免れない。来年产の種芋の確保も心配」と話す。

農業への「やりがい」増す

高校卒業後、すぐに就農した。専業農家の両親のもとで、農業のノウハウを学ぶ。数年前からは、子育てが一段落した妻・理絵さんも農作業にわり、心強いサポートになっている。

父・秀樹さんも60代に突入し、ここ数年で任せられる仕事も増えてきた。農業に対してのやりがいも増し、父の教えに加えて、近所のベテラン農家さんとのコミュニケーションも積極的に行う。彰彦さんは「様々な話を聞くことで、栽培の腕磨きにつなげたい」と話す。

早く一人前に

彰彦さんは「2人の娘、両親、妻、みんな一緒に畑にいるときが、農業をやっていると良かったと思う瞬間。子どものために早く一人前になりたい」の思いを強くする。今後の目標については「今の作付面積で、品質・収量を高めたい。それには父の教えでもある、土づくりがしっかりできるようになりたい」と意気込みを話した。

プロフィール=まつばやし あきひこ
おいらせ町木ノ下 組合員=松林 秀樹さん
家族構成/両親、妻、娘2人(小1・小5)
農業経営/ナガイモ1.2畝、ニンジン、ダイコンほか。

家族共通の趣味は、プロレス観戦で県内の試合会場に足を運ぶ。釣りも息抜きと気分転換になっているという。

共済部

介護共済お見積りキャンペーン



期間 平成29年 3月31日まで

一生にわたって
備えられる介護保障です。

- 1 一生にわたる介護保障で不安の高まる高齢期も安心です。
- 2 公的介護保険制度に連動したわかりやすい保障です。
- 3 介護共済金をまとめた一時金でお受取りいただけます。
※「共済金年金支払特約」の付加により年金方式でお受取りいただくことも可能です。

期間中、介護共済のお見積りをいただいた方に さらに、毎月抽選で5名様に!



リードクッキングペーパー もれなくプレゼント! JA共済オリジナル アンパンマンデジタル体温計をプレゼント!

JA十和田おいらせ 共済部 TEL0176-23-0317

金融部

ローン相談会(本支店のご案内)

教育資金、新築やリフォーム、自動車のご購入など、組合員以外の方でもお気軽にご相談ください。

毎月第3日曜日 9:00~15:00
12月 18日 1月 15日

農業機械・農業に関わる設備資金等の相談も承ります。
各種ローンの金利引下げキャンペーン実施中!



24時間365日受付中

各種ローンがネットで仮申込みできます。
検索方法は「JAネットローン」で検索!!

!! 冬の貯めトクキャンペーン実施中!
29. 1/31(火)まで。

①貯めトク定期
10万円以上の新規・増額でのお預入れ ご契約期間:1年
店頭表示金利+年0.23%(上乘せ)

「ちょリスのふわふわブランケット」または
「ちょリスコインケース」をプレゼント!

※数に限りがございます。期間中、当JAに年金申込をご指定いただいた方、または他の金融機関からの指定替えされた方へQ.U.Oカード(千円分)を進呈いたします。お問い合わせ、お申込み等は、本支店金融窓口まで。

もくじ contents あぐれっしゅ vol.81 12

特集 4.5.6.7p
2016年を振り返る
JA十和田おいらせの主な出来事
& 農業・農政 重大ニュース

共済部より
・介護共済見積りキャンペーン実施中!
金融部より
・ローン相談会
・冬の貯めトクキャンペーン実施中!..... 2p

継承人表紙写真紹介 3p
松林 彰彦さん・理絵さん(下田支店管内)

NEWS&TOPIC 地域の話 8p
・再生産支援を各市町村へ要請
・野菜振興会もいし支部が県優秀賞に
・むつ市地産地消運動協力店感謝祭 一ほか

あぐれっしゅ情報① 11p
・やさい販売要請 ・トップセールスイオン板橋

あぐれっしゅ情報② 12p
・米集荷実績

笑顔ごらめいて 12p

頭の体操 パズル? 13p

information 14p
・年末年始のお知らせ ・子牛市場
・理事会だより 一ほか

役員室のつぶやき

腕じまん
地域じまんのモノ語り 16p
・野菜ソムリエさんのゴボウレシピ

JAの概況 平成28年11月末日現在
正組合員数/6,890戸
准組合員数/5,196戸
役員数/26人
職員数(准職・嘱託含)/291人
貯金高/752億1,555万円
貸出高/178億4,514万円

特集

2016年を振り返る

JA十和田おいらせ 重大ニュース



マイナンバー制度がスタート

マイナンバーは国民一人ひとりが持つ12桁の番号。JA共済の共済金の受け取りなどの他、社会保障、防災対策の行政手続きにもマイナンバーが必要になった。



和子牛初せり 前年比18万高 (県家畜市場)

5ヵ月連続70万円 超えの高値続く

畜産農家の後継者不足等による、出荷頭数の減少などを背景に子牛価格の高値が続く。この日の最高値は、十和田市深持の小原康子さんが育てた去勢牛(第1花国×安福久)で、109万9440円(税込)だった。



共に笑い、共に楽しもう! 「JA年金友の会」を一本化

支店ごとに活動していた「年金友の会」を一本化する設立総会を本店で行った。当JA年金受給者の全5800人が会員で、初代会長には米田鉄雄さんを選出した。年会費は無料。JAでは「イベントを充実させ活動の輪を広げていきたい」と話した。



TPP反対運動 継続して

日本の農業を考える 講演会に400人

北海道大学名誉教授の太田原高昭さんが「寒冷地農業の実勢と展望」をテーマに講演。寒冷地農業について「温暖化が進み、作物の選択肢が広がる」と期待した。一方、TPPについては「継続して反対運動を」と訴えた。



ナンバーワンは 誰に

初のナガイモ早掘り 決定戦

野菜振興会ナガイモ専門部会は、産地PRに向け十和田市芋久保で初の「ナガイモ早掘り NO.1決定戦」を行った。生産者、一般消費者が一緒にあってナガイモ掘りを楽しんだ。



中国人研修生 初の受け入れ

農業労働力確保へ 期待

もいし支店野菜センターで、中国ハルビン出身の女性3人を農業研修生として受け入れた。期間は3年の予定で、JAでは今後の労働力確保に結びつけたいと期待している。



販売総額 193億円 達成記念大会

野菜販売 過去最高の96億円

27年度の販売総額193億円を祝う記念大会を本店で開いた。野菜販売額96億円(前年度比116%)、米・畜産97億円(前年度比113%)。野菜販売額は県内最大で、当JA販売総額も22年のJA合併以降、過去最高額となった。

達成記念リサイタルでは、無料招待した組合員ら2千人が千昌夫歌謡ショーを楽しんだ。



密苗移植で コスト低減

米づくりの新たな 省力に期待

米づくりの新たな省力化、生産コスト減に向け、藤坂支店管内に密苗移植栽培の展示ほ場を設置した。密苗移植は、1箱の播種量を従来の100%から300%に増やすことにより、慣行栽培に比べ移植箱数と育苗ハウスが1/3ですみ、苗の運搬時間も1/3に減らせる。さらに育苗資材費も1/2に低減できる効果が期待されている。



6期連続 黒字決算

第6回 通常総代会

当期剰余金3億8979万円の計上を報告。米穀・野菜・畜産の販売実績は193億円と、過去最高だった前年の同販売実績を12億円上回った。



「マッサン」の シャーロットさん 青森米PRに起用

十和田市内の 米農家がCM共演

JA全農あおもりは、新米のテレビCMにタレントのシャーロットさんを起用し、当JA大深内支店管内の米農家・斗沢香緒里さんが共演。新米の販売開始に合わせ10月中旬からCM放映された。



准組合員・利用者 さま向け広報紙 「アモぼーる」創刊

テーマ 「次世代へつなぐ」

管内の食の魅力、JA事業を伝える広報紙「アモぼーる」は、A4版4ページ、オールカラーで、准組合員5100戸に配布した。JAの各種イベント、顧客巡回活動にも活用し、年3〜4回の発行を予定。



新総代 531人決まる

女性総代44人に

女性総代は15人増の44人に、任期は3年で平成31年8月27日まで。



相次ぐ台風 管内に 大きな爪痕

ハウス冠水、 ナガイモ・ネギ・ゴボウも被害

30日夕方、本県に上陸した台風10号は、収穫最盛期を迎えた長ネギや生長期のナガイモ・ゴボウ、播種後のダイコン・ニンジンなどが甚大な被害を受けた。





農業・農政 重大ニュース

5 農協改革

規制改革推進会議農業ワーキンググループが①全農の農産物委託販売の廃止と全量買い取り販売への転換②全農の購買事業を新組織に転換しメーカーに関連部門を譲渡・売却③信用事業を営むJAを3年後をめどに半減——などを柱とする提言を公表。JAグループは経営介入につながるとして反発。自民、公明の検討の結果、全農改革は共同購入の利点を最大化するための組織のスリム化などで決着。与党・政府が自己改革を進捗管理する。信用事業を営むJAを3年後をめどに半減させることは見送られた。

6 参院選

東北6県は秋田を除く5県で自民党が敗北。TPPへの不安などが背景にあるとみられる。

7 生産調整達成

米の生産数量目標が2年連続で達成。東北6県をはじめ水田地帯での飼料用米への作付け転換が奏功。

8 JA概算金軒並みアップ

米のJA概算金が東北6県で軒並み前年度を上回った。生産数量目標達成による米の需給引き締めが影響。

1 台風10号

青森、岩手中心に甚大な被害。東北太平洋側に台風が上陸するのは観測史上初。

2 TPP承認案審議再開

前国会で継続審議となっていたTPP承認案の審議が再開。山本有二農相の問題発言やSBS問題で国会は大荒れ。事実上の強行採決で参院送付。

3 SBS問題

輸入商社が米卸に「調整金」を支払い、それを原資に米卸は公表価格よりも安く販売していたことが発覚。TPPでは米の新たな輸入枠が設定される。調整金をめぐり、TPPによる輸入米が国産米に与える影響などについて国会は紛糾した。

4 米国大統領選

「ヒラリー有利」の下馬評を覆し、トランプ氏が勝利。選挙後、「TPP離脱」を明言。

情報提供：(株)日本農業新聞

9月15日
28年産米「まっしぐら」1,500円上げ
2年連続上げ基調



8月31日
災害対策本部設置
長雨、台風の被害甚大

10月18日
JA青森グループは、「JAグループ青森・台風等災害対策本部」をJA会館内(青森市)に設置した。県南4JA(十和田おいらせ・おいらせ・ゆうき青森・八戸)の被害額は13日現在、38億5100万円。作物別ではナガイモ19億2500万円、ゴボウ7億6800万円、ダイコン3億200万円、ネギ2億3100万円など。当JAの被害額は10億6400万円になる見通し。

10月18日
本県の長雨、台風被害38億円超
JA青森グループが対策本部設置

9月28日
被災農家へ実質無利子融資
特別支援資金を新設

10月28日
農水省が10月28日発表した同月15日現在の28年産米作況指数は、青森県が「104(やや良)」で、南部・下北地区の10ヶ当りの予想収量は564%と、前年産米より5%減。当JA管内の1等米比率は11月28日現在、まっしぐらで93.2%と、品質面では前年同期を上回った。集荷数量(主食米加工米・備蓄米・飼料用米)は37万6408俵で前年同期比94.8%。

10月28日
本県米作況「104(やや良)」

10月20日
大豆の荷受け量拡大
新プラント本格稼働

12月2~6日
台風被害に係る国の支援補助事業決まる
6地区で説明会開催

11月16日
野菜振興会ももいし支部が優秀賞に
県、攻めの農林水産業賞

11月2日
4JA組合長が県に支援要請
県知事に要請書提出